



1 年	98 名	3 学級
2 年	107 名	3 学級
3 年	91 名	3 学級
4 組	1 名	1 学級
5 組	2 名	1 学級
合計	299 名	11 学級

## 「潔く」生きる — コブシの蕾に想う —

校長 青野 保

辛夷（コブシ）の産毛を纏った蕾が少しずつ膨らみ、真っ白な花が咲くのが想像できるようになりました。

澄み切った寒空に向かって伸びるコブシの蕾を見て、川添哲夫先生のことを思い出しました。先生は、全日本剣道選手権大会で2回優勝の偉業を成し遂げた高知学芸高校の体育教師でした。悲運にも1988年3月、引率していた修学旅行先の上海で列車事故に巻き込まれ多くの生徒と共に命を落とされました。この事故で私は、川添先生の死を悼みながらも「潔さ」とはどのようなものなのかを教えられたような記憶があります。事故当時、テレビで奥様のインタビューが放映されました。御自身も剣士である奥様は気丈にも「主人は、自分が引率している生徒が亡くなって、自分だけ生きて帰ることを『潔し』としなかったでしょう」と話されていました。私は、最愛の存在を失った直後でも、このように言える奥様の姿こそが「潔い」と感銘を受けました。「潔く」あるためには、いくつか条件があると考えます。決断に至るまでの準備が万全である、決断に揺るぎがない、結果の良し悪しに憂いがない、後悔しない…。大きくくくれば「常に前向きである」と言えるかも知れません。哲夫先生の奥様の言葉に私は「事故は過去のこととして受け容れ悲しみに負けることなく、強く前向きに生きて行こう」という決意のようなものを感じ取りました。

感染症や技術革新など変化が激しい時代においては、「潔く生きる」ことがますます重要になると考えます。間もなく卒業・進級という節目を迎える生徒達にもこのことを求めながら、共に「品格ある学校」づくりに取り組んでまいります。引き続き、皆様の御支援をお願いいたします。



いさぎよ - い【潔い】〔形〕

澄み切った感じで、すがすがしい。特に態度が、未練もなく、さっぱりしている。

「...を一・しとせず（＝恥ずべきこととみなして、受け入れない）」

## 第1学年スキー林間学校 — 御理解・御協力、ありがとうございました。 —

教頭 矢野 天洋

1月16日（日）から18日（火）の3日間、長野県小諸市高峰高原で行われた第1学年スキー林間学校に同行しました。御理解、御協力いただいた全ての方々に感謝いたします。

出発前、生徒に3つの要求をしました。①林間学校の目標を意識して行動すること。②「安全第一」を心がけること。③おおいに楽しみ、おおいに学ぶこと。…最も心配したのは、健康管理です。ホテルは山の上にあるため、発熱者や怪我人が出た場合、山道を車で下りて診察を受けさせなければなりません。そこで、十分に水分をとること、しっかり食べ、しっかり睡眠をとることを徹底しました。生徒もこれに応え、スキー林間学校は大成功。雪上レクも大変な盛り上がりを見せ、大きな怪我や病人も出ずに3日間を無事終了することができました。（裏面に写真を掲載しています。）

スキー林間の魅力の1つに、「できなかったことが、できるようになる」ことが挙げられます。できるようになれば、楽しくなり、自信もつきます。おおいに楽しみ、学んだ3日間でした。